

県立所沢高校 «活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）»

課程	定時制	学科	普通科		R6.5.1 生徒数	(男) 48 (女) 30	計 78							
アクセス	西武池袋線・西武狭山線 西所沢駅下車 徒歩 8 分		西武池袋線・西武新宿線 所沢駅下車 徒歩 15 分											
<目指す学校像>														
多様な生徒一人一人に相応し、社会的自立を促す親身あふれる温かい教育														
<教育課程等> ※ 1														
基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるとともに、進路実現を図る力と社会生活で自立できる力を育成する教育課程を編成														
学習指導に当たっては、以下の取組を実施														
<ul style="list-style-type: none"> ・数学科と英語科は全学年、理科は 1 学年の科目でチームティーチングを実施し、個々の学力に応じた課題解決に向けた指導を実施 ・日本語を母語としない生徒への日本語支援員や地域ボランティアによる授業前補講と授業支援 ・学習サポーターによる授業支援、個別補習、定期考查前補習等 ・進学希望者への日常的な課題提供や長期休業中の補講実施 														
<本校が求める生徒> ※ 2														
<ul style="list-style-type: none"> ・本校入学後の目標を持ち、それに向かって努力できる生徒 ・主体的に学習に取り組む生徒 ・ルールを守ることができる生徒 														
<学校行事>														
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会主催による新入生歓迎会(4月)、ボウリング大会(5月)、文化祭(11月)、予饗会(2月) ・文化祭は各学年の趣向を凝らした企画と有志による発表等 ・全校生徒で行く遠足(9月) ・学年対抗戦で白熱する体育祭(10月) ・少人数だから可能な修学旅行(第 3 学年の 10~11 月) ※昨年度は京都・大阪 (USJ 含) ・定時制ならではの二十歳を祝う会(1月) 														
<部活動>														
部活動は実施していないが、「総合的な探究の時間」で文化的な活動やスポーツ活動を選択して探究活動をすることが可能														
<家庭・地域との連携>														
<p>○毎学期初めに担任による個別面談を実施し生徒理解を深める ⇒ 教職員が生徒情報を共有するとともに課題のある生徒について家庭・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、行政 (こども政策課・保健センター等)、日本語支援員、学習サポーターと連携しながら課題解決に向けた支援を実施</p> <p>○日本語を母語としない生徒へ地域ボランティアの方が週 1 日来校し、始業前日本語教室を実施</p>														
進路	R6.3 卒業生	四大	5 人	短大	0 人	専門	2 人	就職	6 人					
	傾向	第 4 学年担当の教員と進路指導部が中心となってきめ細かい指導を行っており、個々の生徒の希望する進路を実現している 四年制大学等への進学希望者が多く、受験に向けた補講や面接・小論文の指導等を長期休業を活用して行っている												

【学校教育法施行規則第 103 条の 2】高等学校における三つの方針
裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)
※ 1 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)
※ 2 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)



本校の特 色

- ☆ 生徒も保護者も満足度の高い教育活動
- ☆ 教職員一丸となって一人一人に相応したきめ細かい指導
- ☆ 生徒一人一人が主役になれる学校行事

学校行事

- 主体性と規範意識を育む学校行事
- ・新入生歓迎会 ・ボウリング大会
 - ・遠足 ・文化祭 ・体育祭
 - ・修学旅行 ・球技大会
 - ・校内成人式 ・生活体験発表会
 - ・予餞会 など



学 び

基礎学力の定着

- ・落ち着いた雰囲気で行われるわかりやすい授業
- ・生徒の興味・関心を引き出す授業
- ・補講・補習の実施
- ・日本語を母語としない生徒対象の日本語支援員(始業前、取り出し授業、授業への入り込み)と地域ボランティア(始業前)による日本語支援

チーム学校

- ・担任が個別面談で生徒一人一人の課題を把握
- ・全教職員で生徒情報を共有
- ・家庭・外部人材(スクールカウンセラー、日本語支援員、学習サポートーー)・地域ボランティアと連携して生徒の課題解決に向けた支援の実施

経 験

人間性を高める

- ・総合的な探究の時間において視野を広め、人との関わり方を学ぶ
- ・各種行事で主体的に企画・運営する力を身に付ける
- ・自己理解を深め、将来について考える

キャリア教育

- ・進路適正検査の実施
- ・キャリア教育の要素を取り入れた授業
- ・進路ガイダンスの実施
- ・進路講演会の実施 等

自 立

社会人としての自立

- ・身に付けた知識・技能を社会で活用する力の育成
- ・社会の変化に対応する力の育成
- ・主権者教育・消費者教育
- ・自己肯定感の高揚
- ・進路実現

進路実現に向けた支援

- ・確かな学力の形成
- ・進学に向けた補講・補習の実施
- ・求人票の見方や履歴書の書き方指導
- ・面接の受け方指導

